

特別助成
パチンコ・パチスロ依存問題の予防と解決に取り組む研究機関への、研究成果周知に対する支援

「依存問題についての理解を広めるフォーラム in 茨城」事業

実態について十分な理解が得られていない 依存問題の解決に社会全体で取り組むために

依存問題は私たちにとって身近なものにもかかわらず、実態について十分な理解がなされているとは言えない。茨城県における依存問題の現状について理解を深め、依存予防に取り組むために、有識者による講演やパネルディスカッション、茨城県遊技業協同組合による取り組みの報告といった内容の啓発フォーラムを実施し、新聞紙面で紹介した。



依存問題についての理解を広めるフォーラム in 茨城の開催を告知するチラシとフォーラムの様子

依存防止の取り組みが遅れている 茨城県で依存問題への啓発を図る

「依存問題についての理解を広めるフォーラム実行委員会」は、心理分野の専門家である「茨城県公認心理師協会」と、地元のマスメディアである「茨城新聞社」が参加している組織で、パチンコ・パチスロ・オンラインゲームなどの身近な娯楽や、競馬・競輪・ボートレースなどのギャンブルへの「過度なめりこみ」を予防し、健全な娯楽・遊技文化の育成に寄与することを目的に、茨城県における依存症対策の取り組みについての情報発信や、依存症によって引き起こされる健康障がいおよび社会問題についての注意喚起を主な活動内容としている。

茨城県ではギャンブル等依存症に係る専門医療機関や治療拠点機関が整備されておらず、他県に比べて依存防止対策の取り組みが進んでいない。茨城県内でギャン

ブル依存を有する人は16,000人、生涯でギャンブル依存を経験した人は73,000人とされており、その対策は急務である。しかし、依存問題は社会的に理解が十分とは言えず、未だに偏見が根強い。自らの意志の問題と誤解されることも多く、病気ではないとの認識から治療につながらないことが大きな課題である。また、「茨城県精神保健福祉センター」によれば、アルコールやニコチンへの依存とギャンブル依存を併発している方も多く、多重債務など金銭的な問題も含め、大きな問題となっているという。

こうした状況においては、まずは依存問題への啓発を図り、過度なめり込みを予防することが重要である。そこで同委員会ではPOSCの助成を活用し、依存症の当事者・関係者はもちろん、広く茨城県民からも参加者を募集し、「依存問題についての理解を広めるフォーラム in 茨城」を開催することにした。

医師、研究者、公務員、遊技関係者など 様々な立場から知識や提言をいただく

2022年12月10日に茨城県水戸市の茨城県開発公社ビル会議室で開催した同フォーラムでは、約40名の参加者があった。フォーラムの第1部では、茨城県精神保健福祉センターの佐々木恵美センター長が「依存症について～ギャンブル等依存症を中心に～」と題した基調講演を行い、依存症には物質依存、行動嗜癖、関係依存などの種類があること、本人の性格や意思のせいではなく脳の病気であることをお話いただいた。第2部では茨城県遊技業協同組合の福地健一郎専務理事から県内のパチンコ・パチスロ店が実施している取り組みについて、ポスターを使って説明いただいた。第3部のパネルディスカッションでは、国立病院機構久里浜医療センター研究員の新田千枝氏、茨城県立こころの医療センター医師の小松崎智恵氏、茨城県精神保健福祉センター職員の菊池智之氏

にパネリストとしてご参加いただき、ギャンブル障がいの実態や治療・相談方法について理解を深めた。

同フォーラムのプログラムに関しては、医師、研究者、公務員など様々な立場の有識者からお話をいただくことで、複雑な依存症の問題を多角的に理解できるよう努力した。フォーラムの目的は「依存問題についての理解を深め、正しい知識を広める」ことであり、ギャンブル等依存症に限らず、アルコール依存や薬物依存、ネット依存についても情報提供や相談・治療機関の紹介をプログラムに盛り込んだ。また、依存症患者の家族に対する理解や支援も重要であることから、家族の直面する問題についても事例をあげながら解説していただくようにした。

開催にあたっては告知用チラシや新聞広告などで周知を行ったうえ、フォーラムに参加できない方に対する情報発信として、フォーラムの約1ヵ月後に当日の様子をまとめた採録紙面を「茨城新聞」に掲載した。



茨城新聞に掲載されたフォーラムの採録紙面

助成団体: 依存問題についての理解を広めるフォーラム 実行委員会



多くの人が正しい知識を持つことが依存症予防対策の第一歩です

茨城県内においてギャンブル等依存症の対策を進めるにあたり、今回の啓発フォーラムは意義のあるものだったと考えております。依存症は脳の病気であるという理解が十分になされ、依存症患者に対する誤解を解き、多くの人が正しい知識を持つことが依存症対策の第一歩です。今後も茨城県内において情報発信と普及啓発を実施していく所存です。

依存問題についての理解を広めるフォーラム 実行委員会
代表 岡崎 正人さん